



平成29年12月期 第3四半期決算短信(日本基準)(非連結)

平成29年10月30日

上場会社名 enish

上場取引所 東

コード番号 3667 URL <http://www.enish.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 安徳 孝平

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理本部長 (氏名) 高木 和成

TEL 03-6447-4020

四半期報告書提出予定日 平成29年11月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年12月期第3四半期の業績(平成29年1月1日～平成29年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|--------------|-------|------|------|---|------|---|--------|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 29年12月期第3四半期 | 2,792 | 26.2 | 732 | | 727 | | 796 | |
| 28年12月期第3四半期 | 3,785 | 9.7 | 255 | | 293 | | 365 | |

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 |
|--------------|-------------|--------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 29年12月期第3四半期 | 102.08 | |
| 28年12月期第3四半期 | 48.95 | |

(注)平成28年12月期第3四半期及び平成29年12月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失金額であるため、記載していません。

(2) 財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|--------------|-------|-------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 29年12月期第3四半期 | 1,844 | 922 | 48.2 | 113.87 |
| 28年12月期 | 2,177 | 1,685 | 77.4 | 215.96 |

(参考)自己資本 29年12月期第3四半期 888百万円 28年12月期 1,684百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|-------------|--------|--------|--------|------|------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 28年12月期 | | 0.00 | | 0.00 | 0.00 |
| 29年12月期 | | 0.00 | | | |
| 29年12月期(予想) | | | | | |

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成29年12月期の配当予想につきましては、現在未定であります。

3. 平成29年12月期の業績予想(平成29年1月1日～平成29年12月31日)

平成29年12月期の業績予想につきましては、現時点で合理的な業績予想の算出ができないことから記載していません。なお、当該理由等につきましては、添付資料P.3「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

| | | | | |
|-------------------|-----------|-------------|-----------|-------------|
| 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 29年12月期3Q | 7,801,600 株 | 28年12月期 | 7,800,800 株 |
| 期末自己株式数 | 29年12月期3Q | 株 | 28年12月期 | 株 |
| 期中平均株式数(四半期累計) | 29年12月期3Q | 7,800,982 株 | 28年12月期3Q | 7,464,116 株 |

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(1)経営成績に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|--------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 2 |
| (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. 継続企業の前提に関する重要事象等 | 3 |
| 3. 四半期財務諸表及び主な注記 | 4 |
| (1) 四半期貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期損益計算書 | 5 |
| 第3四半期累計期間 | 5 |
| (3) 四半期財務諸表に関する注記事項 | 6 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 6 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 6 |
| (セグメント情報等) | 6 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間における我が国経済は、企業収益の回復や個人消費の持ち直しの動きがみられ、緩やかな景気回復基調が継続しております。

当社の主な事業領域である、モバイルゲーム事業を取り巻く環境につきましては、引き続きスマートフォンの契約数は順調に推移しており、また国内モバイルゲーム市場についても成長率の鈍化はみられるものの、ネイティブアプリケーション（注）を中心に今後も拡大していく見通しであります。

このような事業環境の中、当社では当第3四半期累計期間においては、ゲーム事業の強化を目的とした選択と集中を進める中で、ブラウザゲームの「プラチナ☆ガール」を株式会社ビジュアルライズへ譲渡いたしました。既存タイトルに関しては、注力タイトルはゲーム内の施策を強化及び運営品質の改善を行い、引き続き売上収益に貢献しておりますが、タイトル譲渡の影響もあり売上高は減少いたしました。

非ゲーム事業においては、平成29年6月には、ヤフー株式会社が運営する「Yahoo!ゲーム」のスマートフォン向け人気ゲームアプリをWindows®パソコンで楽しむことができるPC用アプリケーション「Yahoo!ゲーム プレイヤー」が提供開始され、その開発を当社が担当しました。また、ファッションレンタルサービス「EDIST. CLOSET」は、人気スタイリストやアパレルとコラボレーションした旬のコーディネートセットが人気を獲得し、順調に会員数が増加しております。今後も仕事や家事・育児に忙しいすべての女性に、より豊かなライフスタイルを送るサポートができるよう、サービス提供を行ってまいります。

足元の状況といたしましては、平成29年10月18日に、『樺坂46』初となる公式ゲームアプリ「樺のキセキ」をiOS版/Android版/PC版(Yahoo!ゲーム)を同時リリースいたしました。「樺のキセキ」は、グループが歩んだ成長の軌跡と、メンバーが努力し続けることで起こした奇跡をたどるドキュメンタリーライブパズルゲームであります。10月20日には配信から2日で100万ダウンロード、8日で150万ダウンロードを突破する好調なスタートとなり、10月25日からTVCMのプロモーションを開始しております。さらにプロモーションの強化やイベント等の施策を行っていくことで売上収益が期待されます。引き続き安定した収益基盤の構築に努めてまいります。

なお、第2四半期会計期間において、経営資源を集中する観点から開発を進めてまいりました女性向けタイトルを凍結いたしました。「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき、当社の有形無形固定資産について、当初想定していた収益と今後発生することが見込まれる収益に差異が生じ、減損の兆候が把握されたことから、将来の回収可能性を慎重に検討した結果、帳簿価額を使用価値に基づいた回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として計上しております。

この結果、当第3四半期累計期間の業績は、売上高は2,792百万円（前年同四半期比26.2%の減少）、営業損失は732百万円、経常損失は727百万円、四半期純損失は796百万円となっております。

(注) ネイティブアプリケーションとは、特定のコンピューターの機種やOS上で直接実行可能なプログラムで構成されたアプリケーションソフトウェアのことをいいます。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期会計期間末の流動資産につきましては、前事業年度末に比べて182百万円減少し、1,567百万円となりました。これは主に、現金及び預金の増加（前事業年度末比124百万円の増加）があった一方で、売掛金の減少（前事業年度末比146百万円の減少）及び流動資産その他の減少（前事業年度末比161百万円の減少）によるものであります。固定資産につきましては、前事業年度末に比べて150百万円減少し、277百万円となりました。これは主に、本社資産等の固定資産に係る減損損失を計上したこと等による有形固定資産の減少（前事業年度末比131百万円の減少）及び無形固定資産の減少（前事業年度末比37百万円の減少）によるものであります。

この結果、総資産は、前事業年度末に比べ332百万円減少し、1,844百万円となりました。

(負債)

当第3四半期会計期間末の流動負債につきましては、前事業年度末に比べ440百万円増加し、869百万円となりました。これは主に、短期借入金の増加（前事業年度末比408百万円の増加）によるものであります。固定負債につきましては、前事業年度末に比べて10百万円減少し、52百万円となりました。これは主に、繰延税金負債の減少によるものであります。

この結果、負債合計は、前事業年度末に比べ430百万円増加し、922百万円となりました。

(純資産)

当第3四半期会計期間末の純資産につきましては、前事業年度末に比べて763百万円減少し、922百万円となりました。これは主に、四半期純損失の計上による利益剰余金の減少（前事業年度末比796百万円の減少）によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年12月期につきましては、引き続き既存ブラウザタイトルの売上減少の制御を行い、安定した収益基盤の構築を努めるとともに、クオリティの高い新規ネイティブアプリケーションの開発を行ってまいります。

従前、通期の業績予想を開示しておりましたが、モバイルゲーム市場の取り巻く環境の変化が激しく、当社の事業も短期間に大きく変動する可能性があること等から、信頼性の高い通期の業績予想数値を算出することが困難となっているため、決算業績及び事業の概況の速やかな開示に努め、業績予想につきましては開示を見合わせます。

2. 継続企業の前提に関する重要事象等

当社は、前事業年度において重要な営業損失及びマイナスの営業キャッシュ・フローを計上し、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような状況が存在しておりました。

当第3四半期累計期間において、依然営業損失及びマイナスの営業キャッシュ・フローが生じております。

以上により、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような状況が存在しておりますが、①収益性が高く見込まれる新規タイトルの開発と運営、②プロダクトポートフォリオの見直し及び品質管理による収益力の強化、③資金調達や資金繰りの安定化に努めてまいります。これらの改善策を状況に応じて適切に推進していくことにより、継続企業の前提に関する重要な不確実性は認められないと判断しております。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

| | 前事業年度 (平成28年12月31日) | 当第3四半期会計期間 (平成29年9月30日) |
|--------------|------------------------|----------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 878,660 | 1,003,480 |
| 売掛金 | 558,362 | 412,169 |
| 商品 | - | 29,620 |
| その他 | 313,046 | 122,168 |
| 流動資産合計 | 1,750,069 | 1,567,438 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | 131,212 | - |
| 無形固定資産 | 37,044 | - |
| 投資その他の資産 | | |
| 敷金及び保証金 | 237,229 | 239,229 |
| その他 | 90,090 | 90,090 |
| 貸倒引当金 | △68,000 | △52,000 |
| 投資その他の資産合計 | 259,319 | 277,319 |
| 固定資産合計 | 427,576 | 277,319 |
| 資産合計 | 2,177,646 | 1,844,758 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 69,605 | 123,317 |
| 短期借入金 | 137,520 | 545,800 |
| その他 | 221,498 | 200,437 |
| 流動負債合計 | 428,623 | 869,554 |
| 固定負債 | | |
| 資産除去債務 | 49,199 | 49,460 |
| 繰延税金負債 | 10,690 | - |
| その他 | 3,351 | 3,351 |
| 固定負債合計 | 63,242 | 52,812 |
| 負債合計 | 491,866 | 922,366 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 1,169,245 | 1,169,295 |
| 資本剰余金 | 1,168,245 | 1,168,295 |
| 利益剰余金 | △652,828 | △1,449,189 |
| 株主資本合計 | 1,684,662 | 888,400 |
| 新株予約権 | 1,117 | 33,990 |
| 純資産合計 | 1,685,780 | 922,391 |
| 負債純資産合計 | 2,177,646 | 1,844,758 |

(2) 四半期損益計算書
(第 3 四半期累計期間)

(単位 : 千円)

| | 前第 3 四半期累計期間 (自 平成28年 1 月 1 日 至 平成28年 9 月 30 日) | 当第 3 四半期累計期間 (自 平成29年 1 月 1 日 至 平成29年 9 月 30 日) |
|-----------------|---|---|
| 売上高 | 3,785,597 | 2,792,324 |
| 売上原価 | 3,248,361 | 2,757,420 |
| 売上総利益 | 537,235 | 34,903 |
| 販売費及び一般管理費 | 792,243 | 767,242 |
| 営業損失 (△) | △255,008 | △732,338 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 112 | 1,807 |
| 事業譲渡益 | 8,280 | — |
| 貸倒引当金戻入額 | — | 16,000 |
| その他 | 3,203 | 1,904 |
| 営業外収益合計 | 11,595 | 19,711 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 2,148 | 2,294 |
| 貸倒引当金繰入額 | 45,000 | — |
| 支払手数料 | — | 12,000 |
| その他 | 2,687 | 401 |
| 営業外費用合計 | 49,835 | 14,695 |
| 経常損失 (△) | △293,248 | △727,322 |
| 特別利益 | | |
| 事業譲渡益 | — | 95,000 |
| 特別利益合計 | — | 95,000 |
| 特別損失 | | |
| 減損損失 | 70,371 | 168,011 |
| その他 | — | 5,000 |
| 特別損失合計 | 70,371 | 173,011 |
| 税引前四半期純損失 (△) | △363,619 | △805,334 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 1,717 | 1,717 |
| 法人税等調整額 | — | △10,690 |
| 法人税等合計 | 1,717 | △8,973 |
| 四半期純損失 (△) | △365,337 | △796,361 |

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社は、モバイルゲーム事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。